

2015 年度 小委員会活動成果報告

(20 16 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	住宅ストック小委員会	主 査 名：齊藤広子 就任年月：2012年4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：平野 吉信 主 査 名：
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建築ストック時代の住宅を取り巻く、建築社会システムの在り方の検討 ・ 実践にむけた、あらたな学問・研究領域の開拓 今年度は、大会で PD を行い、広く会員に還元することを目指していた。	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：今年度はなし	
設置 WG (WG 名：目的)	戸建住宅地 WG 住宅流通 WG 集合住宅 WG	
2015 年度予算	65.000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス： 無

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	研究協議会の開催：空き家をリ・デザインする
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	住宅のストックの現状と課題を現場から学ぶために、松戸市の MAD (6/13)、大阪泉北見学会 (7/11)、世田谷タガヤセ (8/26)、福岡・佐賀 (12/12.13)、および空き家問題の講演 (牧野、6/15)、空き家問題の総括 (2016.2.16 予定) の小委員会の開催を実施した。この成果を、大会の研究協議会で発表した。空き家問題を通じて、住宅のストックだけでなく、住宅を取り巻く建築社会システムの課題を確認した。現場や実務から学ぶことを大切にしたいという 4 年間の目標は達成できた。
委員会活動の問題点 ・課題	